

入学後の学習内容及び卒業後の進路状況一覧

学科		入学後の学習内容	卒業後の進路状況(近年)
機械科		①ものづくりをする上で必要な「機械設計」「機械工作」「機械製図」を学習します。	【就職】 プロテリアル(旧:日立金属)、鶴見製作所、鳥取県金属熱処理協業組合、ニッポン高度紙工業、ミネベアミツミ、米子製鋼、後藤工業、リコージャパン、米子ガス産業、トヨタ自動車、トヨタ車体、クボタ、JR西日本、東芝デバイス&ストレージ、京セラ、カネカ、大阪府警察など 【進学】 鳥取大学、島根大学、明治大学、千葉工業大学、広島工業大学、鳥取短期大学、日本海情報ビジネス専門学校など
		②機械系の学習に加えて、情報・制御技術系の基礎技術を学習します。	
		③3年間の総仕上げとして、「課題研究」でものづくりに挑戦します。	
電気科		現代社会に必要な電気エネルギー。その電気の発生から、電気の受け渡し、電気の利用などを学習します。	【就職】 中国電力、中電工、中電プラント、中国電気保安協会、電力サポート中国、JR西日本、西日本電気システム、三菱電機、トヨタ自動車、JFEスチール、関電工、島根電工、プロテリアル(旧:日立金属)、ミネベアミツミ、ニッポン高度紙工業など 【進学】 広島工業大学、岡山理科大学、金沢工業大学、千葉工業大学、大阪産業大学、神戸国際大学、鳥取環境大学、米子高専、神戸電子専門学校など
		①「電気基礎」「電力技術」「電子技術」「電気機器」「製図」などの科目を通して、発電から管理、変換、制御などの電気利用技術を総合的に学習します。	
		②コンピュータ利用技術の習得だけでなく、「電気実習」「課題研究」でコンピュータを使った計測及び制御などの実践的な技術を身に付けます。	
情報電子科		通信機器やコンピュータなどの電子技術分野と、コンピュータのハードウェア・ソフトウェアなどの情報技術分野を学習します。	【就職】 ゴール、プロテリアル(旧:日立金属)、日立産機テクノサービス、リコージャパン、鶴見製作所、ミネベアミツミ、中国電力、電力サポート中国、トヨタ自動車、キヤノン、JFEスチール、JR西日本、東芝ITサービスなど 【進学】 鳥取大学、島根大学、広島工業大学、千葉工業大学、金沢工業大学、米子高専、中国職業能力開発大学校、神戸電子専門学校、清風情報工科学院など
		①半導体をはじめとする電気電子回路や、計測制御などの電子技術全般を学習します。	
		②ハードウェア技術、ソフトウェア技術、プログラミング技術などの情報技術全般を学習します。	
環境エネルギー科		幅広く電気・電子系の内容を学びつつ、環境化学も学びます。	【就職】 トヨタ自動車、TVC、エディオン、マルコフーズ、菅公学生服、キョーラク、島根電工、日鉄テックスエンジ、グリコマニファクチャリングジャパン、米子王子紙業、三光、山陰酸素工業、米子報知機、王子エンジニアリングなど 【進学】 島根大学、広島工業大学、流通科学大学、鳥取短期大学、米子高専、日本海情報ビジネス専門学校、YMCA米子医療福祉専門学校、神戸総合医療専門学校、松本情報工科専門学校、中国職業能力開発大学校など
		①電気・電子・化学の枠組みにとらわれず、太陽電池など地球に優しいエネルギーについて学習します。	
		②今後環境・エネルギー関連の雇用が見込まれます。電気工事士や危険物取扱者の資格取得が可能です。電気関連の企業のみならず、他の製造業にも就職が見込めます。	
建設科	土木コース	③大学等の上級学校では、環境・エネルギー関連の研究分野が増加しているため、進学にも有利です。	【就職】 美保テクノス、大協組、ミテック、平井組、西日本高速道路、JR西日本、西日本高速道路メンテナンス中国、鳥取県職員、境港市職員など 【進学】 広島工業大学、大阪産業大学、大阪商業大学、日本海情報ビジネス専門学校など
		道路・橋・トンネル・河川・ダム・上下水道など、生活を支える社会基盤(インフラ)に携わる建設技術者を目指します。主に測量・構造力学・設計・製図・施工・社会基盤工学を学習します。	
		①測量…測量技術を習得し、測量士補の資格取得を目指します。	
建設科	建築コース	②土木三力(構造力学・土質力学・水理学)…土木構造物の設計の基礎を学びます。	【就職】 美保テクノス、大協組、平田組、アート建工、井木組、松和建設、ミヨシ産業、ニチラスなど 【進学】 広島工業大学、鳥取短期大学、京都建築大学校、近畿職業能力開発大学校、島根職業能力開発短期大学校、広島工業大学専門学校、愛知工業大学など
		③建設分野で必要な土木施工管理技士の資格取得を目指したり、生態系や環境に配慮したものづくりを学んだりします。	
		建築物を造るために必要な種々の学習や、それを取り巻く環境・設備の学習を行います。	
建設科	建築コース	①構造・計画・設計・施工・法規などの学習…建築物を造るために必要な基本的な知識を身につけます。	
		②製図・実習などの実技学習…手書き製図・CAD・模型作成など体験的学習を通して、視覚による空間把握をします。	